

3年生夏休み

志望校別過去問研究

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、3年生2学期からの入試対策を集団の力を生かしてより充実させるための「志望校別過去問研究会(報告用紙)」について検討する。

検討会メンバー



群馬県立
太田高校
新井高広
あらい・たかひろ

教職歴25年。同校に赴任して8年目。進路指導部。「正しい道を選ぶのではなく、選んだ道を正しく生きる生徒になってほしい」



群馬県立
高志高校
西 繁寿
にし・しげひさ

教職歴23年。同校に赴任して3年目。進路指導部。3学年担任。「1日1日を生徒と本気で歩んでいきたい」



群馬県立
北条高校
衣川 顕子
きぬがわ・あきこ

教職歴28年。同校に赴任して4年目。人間創造コース長。1学年副主任。「生徒のやる気を起こさせる着火剤を目指す燃焼系教師でありたい」

群馬県立太田高校 新井高広先生 「志望校別過去問研究会(報告用紙)」

ビフォー

志望校別過去問研究会(報告用紙)

3年 組 番 氏名

◎志望校

志望順位	大学	学部・学科
第1志望		
第2志望		

◎グループの構成(班長に◎、副班長に○)

出席番号	氏名	出席番号	氏名

◎第1回研究会(月 日～月 日)

大学	学部学科(複数記入可能)			
年度	教科	科目	問題番号	分野
			第 問	

◎第2回研究会(月 日～月 日)

大学	学部学科(複数記入可能)			
年度	教科	科目	問題番号	分野
			第 問	

◎第3回研究会(月 日～月 日)

大学	学部学科(複数記入可能)			
年度	教科	科目	問題番号	分野
			第 問	

過去問題の中からグループで研究できそうなものを生徒が選び、記録を残す。

1週間程度で各自が過去問題を解き、それぞれの解答を持ち寄って、最良の解答を検討し、グループの解答として清書する。

模範解答を見て、グループで採点し、完成答案とともに担当の教師に提出する。この活動は、基本的に生徒の自主性に任されている。

ねらいと機能

同じ目標に向かって
グループ内で切磋琢磨させる

群馬県立太田高校は、2年生12月から実施する志望校勉強会で入試科目などを調べさせ、3年生9月からの志望校別過去問研究会では、実際の過去問題をグループ研究させている。受験勉強が本格化する3年生2学期、同じ大学(あるいは大学群)を目指す仲間と過去問研究会を通して切磋琢磨させることで、入試本番まで頑張れる集団づくりを目指している。だが、同校の過去問研究会は基本的には生徒の自主的な集まりであり、また、受験勉強の進み具合において個人差が出る時期でもあるため、全てのグループが活動を継続するわけではないのが実情だ。過去にはグループ学習の継続が難関大合格者の増加の一因と推察される年度もあったため、よりよい形でその取り組みを発展させたいと考えている。

検討

グループ学習を通して個々の
自力走行のきっかけをつくりたい



新井 志望校別過去問研究会は、グループで同じ過去問題を解くこ

とで、答えに至るまでには様々なアプローチがあることを学ぶ貴重な機会になっています。生徒同士が学び合うことで、個別試験の指導における教師の負担の軽減にもつながります。同じ目標を持つ仲間が存在は、一人ひとりの志望校へのモチベーションを入試本番まで高め続けられますから、この時期からのグループ化はとても重要なことです。



衣川 勉強に対する前向きな姿勢を、仲間と共有できることは素晴らしいと思います。本校では昨年度、推薦入試を希望する生徒が、自主的にグループをつくって面接の練習をしていました。「もっと練習が必要

な気がするし、友だち同士だとまた違った角度からチェックできる」という理由で始めたのです。自主的に学ぶ生徒を見ながら、「これをもつ



西 自分のペースで学習する方が合っている生徒もいるので、グループに縛られすぎないようにする配慮は欠かせませんが、一人ひとりの生徒が、自分にとって適切な頻度で仲間と学び合い、成長できるグループ学習ができればよいと思います。

新井 生徒が自主的に集まって学び続けるためには、活動の様子を教師が把握しておくことが必要ですね。また、時期についても9月より前に始めてもよいと思うのですが、1学期中は部活動の関係で足並みがそろいにくいです。

西 本校では今年度、夏休み中の課外講習の時間を減らそうという計画があります。主に午後の時間を、生徒たちによる自主的な学習に充てようと考えています。生徒に任せる部分と、教師がしっかりサポートするところを明確にした上での試みです。

課題と解決策

- 1 グループ学習でのメリットを生徒が実感できるように仕組みをつくる。
- 2 グループ学習でどんなことに取り組んでいるのか、教師が活動の様子を把握できるようにする。
- 3 9月以降の自力走行のきっかけとなるように、夏休みの講習期間を活用してグループ学習を行う。

衣川 夏休み中のグループ学習を、生徒たちによる自主的なものに行えば、9月からの個々の学習に勢いが生まれそうです。秋以降、私たちは個別指導にかける時間が多くなるからこそ、教師の目が離れた時にも生徒が学び合える集団づくりが重要です。受験本番に向けて、教師が個別指導に力を入れるほど、生徒が受け身になるような気がしていました。「教師である自分が教えなければ」といった考えにとらわれず、生徒の自力走行のスイッチを入れたいです。

新井 自力走行のきっかけを夏休みにつくり、学習の様子を把握しながらも、学習は生徒に任せられるよう、少しずつ生徒の手を離していくような仕組みをつくりたいですね。

学校プロフィール

群馬県立太田高校

◎全日制／普通科／男子校／1学年約2800人
◎2016年度入試合格実績（現役のみ）／国公立大は、北海道大、東北大、群馬大、東京大、京都大などに136人が合格。私立大は、慶應義塾大、中央大、早稲田大などに延べ494人が合格。

福井県立高志高校

◎全日制／普通科／理数科／共学／1学年約3500人
◎2016年度入試合格実績（現役のみ）／国公立大は、金沢大、福井大、名古屋大、大阪大、神戸大などに230人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ376人が合格。

兵庫県立北条高校

◎全日制／普通科・人間創造コース／共学／1学年約1600人
◎2016年度入試合格実績（現浪計）／国公立大は、和歌山大、鳥取大、岡山大、徳島大、高知大などに26人が合格。私立大は、同志社大、関西大、近畿大、関西学院大、甲南大などに延べ173人が合格。

検討会で明らかになった課題を踏まえ「志望校別過去問研究会（報告用紙）」を改良！次ページで紹介します。

アフター

志望校別過去問研究会（報告用紙）

3年 組 番 氏名 _____

■グループの構成（班長に◎、副班長に○）

出席番号	氏名	出席番号	氏名

■第1回研究会（ 月 日 ～ 月 日）

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

■第2回研究会（ 月 日 ～ 月 日）

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

■第3回研究会（ 月 日 ～ 月 日）

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

■第4回

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

毎回のグループ学習で気づいたことを記入する。ここでは新井先生のアイデアを生かして、グループ学習を通して気がついた「今の自分のこと」「グループの仲間のこと」を書かせるようにした。また、衣川先生のアイデアのように「この問題で、自分はここまでできた」ということを書かせてもよいだろう。学校や生徒の特性に応じて、グループ学習で気づかせたいことを簡潔に書かせるようにする。

■志望校

志望順位	大学	学部・学科
第1志望		
第2志望		

■第5回研究会（ 月 日 ～ 月 日）

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

■第6回研究会（ 月 日 ～ 月 日）

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

■第7回研究会（ 月 日 ～ 月 日）

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

■第8回研究会（ 月 日 ～ 月 日）

大学	学部・学科 (複数記入可能)		問題番号	分野
			第 問	
グループ学習で気づいたこと (自分のこと)		グループ学習で気づいたこと (仲間のこと)		

夏休みのグループ学習を通じて気づいたこと (自分のこと)
9月以降の決意

夏休みのグループ学習が終わったら、グループ学習を通して気がついたこと、9月からの学習の決意などを書かせる。担任が目を通して、2学期以降の面談時の資料とすることも可能だ。

改訂後のねらいと機能

他者と比較し、自分の課題を浮かび上がらせる

夏休みの講習期間中、毎日1コマを生徒のグループ学習に充てることを想定し、グループ学習を通して気づいたことを個人が日々記入していくシートに改訂した。全ての研究会の振り返りを1枚のシートにまとめることで、グループ学習での気づきを一目で俯瞰できるようにした。各グループ学習についての記入スペースは決して大きくはないが、それは記入そのものに時間をかけさせたくないという配慮からである。

また、これまでは、どの過去問題を研究するかは各グループの判断に委ねていたが、生徒の議論が深まりそうな問題や、別解を示すことのできる議論が行える問題を教師が示すことも考えられるという提案も出された。

そして、9月以降の学習につながるよう、夏休みの講習期間が終わったタイミングで、グループ学習を通して分かった自分の弱点、課題を踏まえて、9月以降の学習についての決意表明を記入させるスペースを最後に設けた。



ビフォー アフター

活用

個人の学びの課題を把握させ、グループでの学びに納得感を持たせる



新井 学び合いでは、問題が解けた人と解けなかった人とがはっきりと分かれたり、解答のアプローチが大きく異なったりした時が、自分を見直すチャンスになります。自分

ができなかった問題をほかの人ができたのは、発想法が違うのか、それとも勉強法が違うのか、気づいたことを箇条書きさせたいですね。実際に問題を解く時間が一番大切なので、記入に多くの時間を割かせたくはありませんが、書かせることで本人の気づきを素通りさせないシートにしたいです。



西 夏休みのグループ学習を通して、グループだからできたこと、つまり今の自分に足りていないことを理解させたいです。そして、9月

からの学習への決意表明を最後にまとめさせると、秋以降の個人面談の資料としても活用できそうです。それに加えて、各グループで「みんな



衣川 できなかったこと、できるようになり

たいことだけでなく、現時点でできていることにも目を向けさせたいです。特に、学習面で自信を持ってない生徒が多い

学校ほど、ここまでは粘られた、ここが前よりも分かるようになったといったことも書かせて、教師がしっかり評価してあげることが大切です。最近鉛筆で書くのは苦手だけれど、パソコンやスマートフォンを使えば自分の思いを比較的伝えられる生徒も少なくありま

の力で解いてみたい問題「グループのメンバーが課題と感じている分野や単元」を教師へのリクエストシートとしてまとめさせてもよいでしょう。そうすれば、教師が夏休みの講習や9月からの授業で優先して取り扱うべき分野や単元が見えてきます。



活用の流れ

1 志望校別グループで選んだ(または教師が選んだ)問題を各自で解いた上で、グループで解答を検討する。

2 グループで検討した時に気づいたこと(今回のグループ学習でできたこと、できなかったこと・課題)をキーワードレベルで書かせる。

3 全ての活動が終了後、9月以降どう学習していくかなど決意表明をさせる。

せん。そうした生徒の思いを、紙にこだわらずICTを活用してつかむことも、今後は取り組んでいくべき時代になっているかもしれません。

西 グループ学習の時間は、少なくともいいと思います。もともと一緒に勉強したいと思う生徒は残ればいいし、今日はここにいる必要はないと判断した生徒は帰ればいい。そうした中でグループでの学びに納得感を得られるようになれば、生徒は自主的に継続して集まるようになるでしょう。9月以降、模試の結果がより重視される時期に、問題を持ち寄って自主的に勉強するグループが校内に出てくると、ほかの生徒の心

にも火をつけることができます。それが理想ですよね。

衣川 本校でも定期考査の時に生徒が自主的に集まって、勉強が得意な生徒が苦手な生徒のために授業をすることがあります。学びに向かうのが苦しくて逃げ出しそうになった仲間を助け合う人間関係は、生徒の学力にかかわらず、どの学校でも実現できると信じています。

新井 支え合う関係を築きながら、9月からの自分に合った学習スタイルを一人ひとりが見つけることができるよう、今日の検討結果を生かして、8月、9月の指導を校内で考えていきたいと思います。